

# 好生館 だより

K O S E I K A N  
D A Y O R I

2019.4

Vol.  
42



地方独立行政法人  
佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN  
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



写真:平成31年度辞令交付式  
4月1日、総勢139名が  
好生館職員となりました。

## CONTENTS

[メッセージ]  
理事長あいさつ／館長あいさつ……………1

[好生館ニュース]  
佐賀県原子力防災訓練 他……………2

[診療科の紹介]  
腎臓内科／脳血管内科……………3  
呼吸器外科／病理診断科……………4

看護部だより……………5

ハートセンターの紹介／手術部の紹介／栄養管理部だより……………6

患者・家族総合支援部だより……………7

お仕事の話／薬剤部だより／お答えします……………8

新任医師の紹介……………9・10

外来医師一覧表……………11

# Message

—メッセージ—



理事長

桐野 高明

理事長あいさつ

## 肥前さが幕末維新博覧会

肥前さが幕末維新博覧会が1月14日をもって閉幕しました。ちょうど私が好生館に赴任した昨年4月には、すでに博覧会はスタートしていましたので、この一年弱の間、常に催しが継続していたこととなります。「その時、佐賀は世界を見ていた。そして今、佐賀は未来を見ている。」という標語のもと、幕末期の佐賀の活躍の様子がさまざまなイベントの中で示されていました。佐賀藩は幕末維新时期に国内最先端の科学技術を有し、明治維新への重要な場面で大きな役割を果たしました。派手な博覧会ではありませんでしたが、その当時の佐賀のことを知る大変よい機会になりました。佐賀で育て

られ、活躍した数多くの偉人たちの事績がわかりやすく展示されていた点も評価できると思います。医学や医療の面でも、佐賀藩の果たした役割は大きく、その影響は現在にまで及んでいます。博覧会では、特別展として「医とくすりへの志」を期間限定で開催し、佐賀の製薬業の振興に携わった先人たちの業績を紹介しました。この展示では、詳しい資料がよく収集され展示されていて、大変参考になりました。佐賀藩は、明治維新に先駆けること十余年、各分野の近代化に成功していたということがよくわかり、開国・明治維新が単に優れた西洋の科学技術をコピーしただけのものではなかったことも理解できました。博覧会は閉幕にあたり、「志を未来へ」と結んでいます。課題山積の未来に、当時の佐賀藩の人たちのような熱意で取り組む必要のあることを訴えかけているような博覧会であったと思います。

館長あいさつ

## 就任にあたって

本年4月1日に佐賀県医療センター好生館の館長に就任いたしました。当館は江戸時代後期の設立以来歴代館長のもと、地域の中核病院として県民の皆様の心に寄り添った最良の医療を提供してきています。昨年からはPFM(Patient Flow Management)を導入し、より安心・安全な入院生活のために、入院前に患者リスクや栄養状況の把握、入院生活や治療の説明などに医療資源を集中投入し、入院から退院・転院までを一括支援する取り組みを開始しました。地域の医療・介護施設との連携も一層深めていきます。引き続き先進的な取り組みを積極的に行い、高度な医療をより安全に提供することで、地域に貢献していけるよう最善を尽くします。

また、人材育成とともに、医療人としての使命感や責任感を損なうことのない働き方改革や職場環境の改善も重要な責務です。

「好生の徳は民心に洽(あまね)し」「学問なくして名医になるは覚束なきことなり」の設立理念のもと、職員一同笑顔で、皆様に信頼され続ける病院を目指していく所存です。

今後とも倍旧のご愛顧とご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



館長

佐藤 清治

## 佐賀県原子力防災訓練に参加しました

総務課庶務係 牛島 卓也

2月2日に佐賀県主催の佐賀県原子力防災訓練が実施され、当館も原子力災害拠点病院として「被ばく傷病者等受入訓練」に参加しました。当館医師、看護師、診療放射線技師や事務職員などの幅広い職種をはじめ、高度被ばく医療支援センターである長崎大学からの原子力災害医療派遣チームを迎え、傷病者発生時の通報連絡や受入れ準備、処置などを体験し、役割や手順などを確認できる有意義な訓練となりました。



## 好生館シンポジウムを開催しました

理事室 東 裕子

地域医療の在り方と将来像について考えるシンポジウムを2月8日に佐賀メディカルセンター 城内記念ホールで開催し、約180名の皆さまにご参加いただきました。

特別講演Ⅰでは、「地域医療構想から地域共生構想へ」と題して、社会医療法人社団陽正会 理事長 寺岡暉先生にご講演をいただき、また、特別講演Ⅱでは、「地域医療構想と地域包括ケア」と題して、産業医科大学医学部 公衆衛生学教授 松田晋哉先生にご講演をいただきました。

両先生からは、今後の地域医療の在り方と将来像について、豊富な資料をもとに示唆に富んだお話をいただき、大変充実したシンポジウムとなりました。



## 第27回好生館医学会総会を開催しました

好生館医学会 準備委員長(副館長) 榎藤 久司

3月9日に、第27回好生館医学会を当館多目的ホールで開催しました。好生館が支援している研究課題(3演題)の発表と、下記の4氏から「救急医療」についての講演がありました。

1)佐賀県健康福祉部 尾鷲一成、2)佐賀県医療センター好生館 小山敬、3)佐賀広域消防局 田原則夫、4)佐賀大学医学部附属病院 阪本雄一郎。参加者は90名で、充実した内容に、活発な討論が繰り広げられました。



## 職員表彰式及び研修修了証授与式を実施しました

副事務部長 小野 潔

3月13日(水)午後2時から多目的ホールで第5回職員表彰式が、同日午後3時から第14回臨床研修修了証授与式が行われました。今年度は、職員表彰式には兒玉館長をはじめ7名の方が長年の勤務に対して表彰され、賞状と記念品が授与されました。(表彰式には5名参加)

また、第14回臨床研修修了証授与式には、基幹型研修医11名の内10名が参加され、修了証書と記念品が授与されました。



第5回 職員表彰式



第14回 臨床研修修了証授与式

腎臓内科

## 新たな国民病「慢性腎臓病 (Chronic Kidney Disease:CKD)」

腎臓内科部長 中村 恵



めにも、定期的に検査を受け、CKDの早期発見・早期治療に努めることが大切です。それにより治癒や悪化抑制の可能性が高まります。

腎臓内科では、このCKD対策にチーム医療で取り組み、外来や入院でのCKD教育にも力を入れております。健診結果等で気になることがございましたら、一度ご相談ください。

CKDとは、「蛋白尿や血尿がある」「画像診断等で腎障害が見られる」「腎機能低下がある」といった腎障害が3カ月以上続く状態を指し、日本国内に1,330万人(成人の8人に1人)の患者さんがいると言われてます。

CKDの原因は様々ですが、糖尿病や高血圧のような生活習慣病が原因になることも多く、高齢になるほどCKDとなる確率は高まります。

初期のCKDでは自覚症状は殆どありませんが、進行するにつれ、夜間頻尿、貧血、だるさ、むくみ、息切れといった症状が出現します。

また、CKDの怖い所は、軽症でも心筋梗塞や脳卒中等の命に関わる病気を招くことです。腎臓だけでなく、心臓や脳を守るた



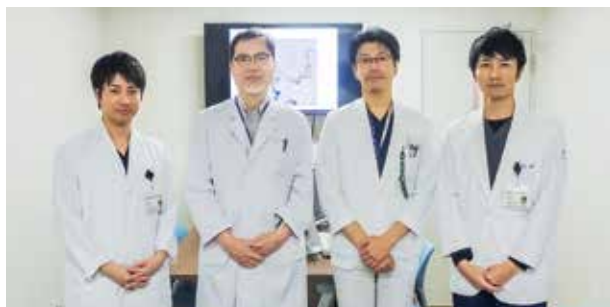
脳血管内科

## 血栓回収脳卒中センター策定へ向けて

脳梗塞の治療はここ5年前後で大きな変化を遂げています。これまでrt-PA静注療法などの点滴や内服が主な治療でしたが、これに加えカテーテルによる脳血栓回収術が適応になっています。保存加療に比べ、ほぼ自立に近い回復が約2.7倍も得られるというものです。

こうした治療を、当館ではこれまでも積極的に行ってきており救急隊や地域医療機関との連携や研究会を行って参りました。今後、より適切なタイミング・施設でこの治療を遅滞なく受けて頂くために、当該学会が中心となって脳卒中治療を専門的に行える血栓回収脳卒中センター(Thrombectomy capable stroke center;TSC)の認定を始めようとしています。これによ

脳血管内科部長 上床 武史



り、脳血栓回収術が必要な患者さんの集約化がさらに計られていくことになります。

2019年度からは、当館の脳血管内治療専門医も増員致しました。当科はこれら血栓回収脳卒中センターを通じて、県民の皆様の健康寿命の延伸に寄与できればと考えております。今後とも何卒宜しく願い申し上げます。

呼吸器  
外科

## 根治性、安全性、低侵襲性の肺癌手術

呼吸器外科部長 寺崎 泰宏



私たちは心臓大血管以外の胸部疾患に対する外科治療を担当します。主な対象疾患は、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、良性肺腫瘍、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸部外傷、中枢気道狭窄などです。

その中で最も多い疾患は原発性肺癌で、毎年少しずつ手術数が増加しています。肺癌の予後は他の固形癌に比べると悪いのが現状ですが、肺癌のステージI,II期であれば手術で根治が期待できます。さらにI期の中でも非浸潤癌という早期癌であれば、部分切除や区域切除といった切除範囲が少ない手術で根治できるようになりました。これまでは非浸潤癌を術中に正確に同定し切除することは困難でした。しかしながら、当科ではCTのような断層撮影が施行できるハイブリッド手術室を使用

することで正確で安全性の高い非浸潤癌に対応した縮小手術が可能となり、既に多くの患者さんを手術しています。

今後、当科では根治性、安全性、そして低侵襲性（胸腔鏡を用いた手術など）を基本的な柱として、患者さん一人一人の生活や体力に応じた治療法を提案し提供していきたいと思ひます。

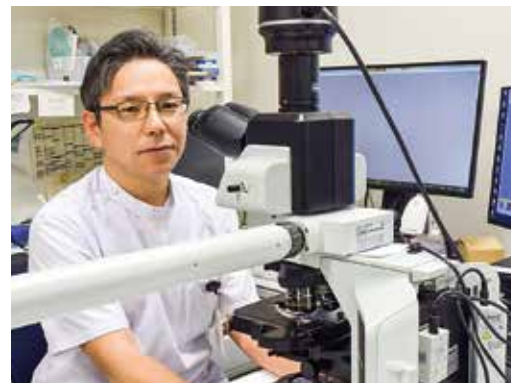
CTのような断層撮影が施行できるハイブリッド手術室を使用

病理  
診断科

## ゲノム医療の橋渡しに

近年、癌を中心として様々な分子標的薬が登場しゲノム医療が急速に進んでいます。それに従って我々の仕事も少しずつ変わりつつあります。以前は顕微鏡を用いての病理診断が全てでした。しかし、近年は癌における遺伝子検査を行う、もしくは正確な遺伝子検査のために検体を管理することまでが業務となっています。館内で行う遺伝子検査は乳癌・胃癌HER-2や肺癌ALKなどの免疫染色検査と肺癌EGFR遺伝子検査などがあります。そして外注検査では、大腸癌RAS検査、肺癌PDL-1検査などが多く、最近では各癌種におけるマイクロサテライト不安定検査、もう少しすると次世代シーケンサーによる遺伝子パネ

病理診断科部長 森 大輔



ル検査が開始されます。これらの検査は病理検体を用いて行われます。不適切な検体では正確な遺伝子検査結果が得られず最適な治療の機会が失われます。適切に処理された質の高い細胞が十分に含まれていることを確認し、臨床医と相談しながら遺伝子検査を進めています。

## 『ロールプレイ』で医療コミュニケーションを学ぶ



看護部は、安全・安心・納得につながる医療コミュニケーションの充実のためにわかりやすい言葉と丁寧な説明を目標に取り組んでいます。各部署の福利厚生担当者は、『ロールプレイ』で患者・家族の気持ちを考えた対応の振り返りを行いました。患者・家族の不安や苛立ちを感じとれないと、不安が不満に変わり医療者への不信感につながります。患者・家族の気持ちを受け止め、丁寧な説明、言葉の使い方をし、相手に視線を合わせた対応を考える時間でした。各部署でも、患者・家族の気持ちを考えた丁寧な対応は現場で生かされています。



## 部署の気がかりな問題を解決へ！『リーダー研修』開催



看護師は、日常業務で気がかりなことをそのままにせず、主体的に取り組むようにしています。今回自分で考え行動を行い、各部署の気がかりな問題に対し解決のために取り組んだことを情報共有しました。テーマは、「口腔ケア」「褥瘡、MDRPUの予防ケア」「環境整備」「感染・医療安全」等、日々実践している看護ケアの取り組みがありました。十分な問題解決技法にはいたりませんでした。好生館の看護をもっと良くしたいという受講生の思いを感じる研修でした。

### サージカルテープの粘着力は・・・



### 実践3

#### 変更前

麻酔科医: 硬膜外チューブのループを作り、キュティポアとIV3000貼付。  
看護師: 被膜剤使用し、棘突起を避けてテープを貼付。



#### 変更後

麻酔科医: チューブは棘突起に重ならないようU字でループを作り、キュティポア貼付。  
看護師: 被膜剤使用しIV3000貼付。棘突起を避けてテープを貼付。





ハート  
センター  
の紹介

## 循環器疾患に対する低侵襲な医療を提供しています

近年、生活習慣病の増加や高齢化に伴い、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈疾患、大動脈疾患等の循環器疾患が増加しています。当館ハートセンターは、循環器内科・心臓血管外科・放射線科の医師、メディカルスタッフによってハートチームを結成し協力し合って総合的かつ最先端の循環器医療を提供しています。

従来は侵襲が大きかった治療が低侵襲で患者さんへ負担が少ない治療へと移行しつつあり、当ハートセンターでも、循環器内科における狭心症や心筋梗塞へ対する冠動脈インターベンション及び不整脈に対するカテーテルアブレーション治療、心臓血管外科における胸部や腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術等を行っています。

ハートセンター長  
江島 健一



手術部  
の紹介

## 手術部では万全の体制で皆様の安全を守ります!

手術部では年間6000例前後の手術が行われ、日々の各診療科の手術が安全で円滑に行えるように、また、24時間365日緊急手術にも十分対応できるような万全の体制を整えています。一方、2016年5月から始まったダヴィンチによる前立腺全摘出術に続き、2018年11月よりダヴィンチによる胃切除術が開始となりました。今後もロボット支援手術の増加が予想されます。このように、高度化し増加する手術をいかに安全確実にこなしていくかが重要で、手術部ではスタッフが一致団結して機能の充実と運営の合理化に心血を注いでいます。

佐賀県医療の最後の砦としての役割を持つ好生館としては、手術部においても患者さんが安心して手術を受けていただけるように、徹底した安全性の追求に努めます。

手術部長  
北原 賢二



手術支援ロボット“ダヴィンチ”

栄養管理部  
だより

## 昔は春のスタミナ食と言われていました

栄養管理部主任栄養士  
椛 美紗子



春の味覚といえば“たけのこ”という方も多いのでは。おいしいだけでなく、水に溶けない不溶性食物繊維を多く含んでおり、水分を吸ってかさを増し、腸を刺激して便秘解消に役立ちます。また、アミノ酸の一種“チロシン”も豊富です。これは魚や肉に多い味成分なので、野菜に含まれているのはめずらしいことです。

ところで、「筍」という漢字はどこからきたのか。食べ物の出盛りの時期を表す「旬」の文字には“10日”という意

味があるのですが、たけのこは芽生えて10日以上経つと硬くなって食べられなくなるため、「旬内の竹」という意味だそうです。確かに、地上に伸びるほど、また、収穫して空気に触れるほど、えぐ味や硬さが増してしまいます。とれたてをすぐに調理して、おいしいうちにいただきましょう。



## 患者・家族総合支援部だより

### 入退院支援センターだより

#### 外国人患者さんが安心して 受診できる環境をつくります

2018年は訪日外国人がついに3000万人を超え、今年の春節では中国人観光客が佐賀県に集中していることで全国的にも話題になりました。さらに「出入国管理及び難民認定法」の改正により、今後さらに外国人患者さんが受診する機会は増える事が予測されます。そこで問題になってくるのが、患者さんと医療者の言葉の壁です。皆さんも想像していただきたいのですが、海外渡航をした際に病気や怪我で現地の病院に受診することとなった場合、慣れない土地で医療を受けることに不安があるはずで、さらにコミュニケーションもとれなければ、大変心細い思いをす

るのではないのでしょうか。当館では、そのようなことがないように医療通訳ボランティアの派遣を受けたり、テレビ電話や電話での多言語通訳を取り入れています。また今年2月にはJMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）を受審し、日本人であっても外国人であっても変わらず、安心・安全に医療を提供できる環境を整えていきます。

外国人患者さんの相談は相談支援センターで受けておりますので、何かありましたらお気軽にご相談ください。

入退院支援センター  
主事  
原田 健作



### がん相談支援センターだより

#### 患者や家族が求める情報や支援の発信の場 となった「がん県民公開講座」

2月2日、「男性のがん・女性のがん」をテーマに開催した今回のがん県民公開講座は、197名の参加となりました。講演では、九州国際重粒子線がん治療センター 戸山真吾先生より、サガハイマットにおける前立腺癌の重粒子線治療、当館の泌尿器科諸隈太医長よりダヴィンチ、乳腺外科白羽根健吾部長は乳がん薬物治療、そして産婦人科安永牧生部長より、若い患者さんの妊娠能力を守るための話がありました。

1階フロアでは、患者さんをはじめ、多くのボランティアの皆さんのご協力のもと、例年行っているがんパスの情報提供や無料のマッサージコーナーに加え、患者会・がん支援イベント・支援団体等からのビデオメッセージを巨大スクリーンに投影してご覧頂いたほか、たて笛の生演奏、患者、家族等による写真・絵手

紙等の展示で、リラックスしたなかで多くの情報を得る企画を展開しました。就労相談窓口や、痔がん・胆道がん教室、化学療法患者会「なごみの会」の館内企画のご案内や地域のがん患者会を知って頂く契機となりました。

正しい情報を掴んだうえで治療することの大切さ、身近にある療養の助けとなる場づくりは、当館の重要なミッションです。

相談支援センター  
係長  
大石 美穂



### 地域医療連携センターだより

#### 患者さんからの電話による 初診紹介事前予約受付を開始しました

ご紹介いただく患者さんの待ち時間の短縮、円滑な外来診療を目的とし、インターネット診療予約システム『カルナコネット』、電話・FAXによる医療機関からの事前予約に加え、3月1日より患者さんからの電話による初診紹介事前予約受付（2つの専門外来及び20の診療科）を開始しました。

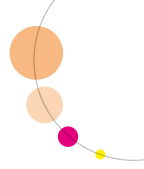
ご紹介いただく患者さんの都合により、医療機関からの事前予約が難しい場合にご利用ください。宜しくお願いたし

ます。  
※なお、医療機関からの事前予約が可能な診療科及び予約方法はかわりません。

地域医療連携センター  
係長  
泉 かつり







知っていますか

# お仕事の話

## その5 『言語聴覚士』

### 「また食べたい」に応える

言語聴覚士はコミュニケーション障害や聴覚障害、嚥下障害者への評価・訓練、指導を主な業務とするリハビリテーションの専門職です。

脳血管障害や加齢等によって食物をのみこむことが困難になることを「嚥下障害」といい、誤嚥性肺炎の原因にもなるため、その対策が重要です。

当館では医師、看護師、管理栄養士、理学・作業療法士等と協力して嚥下リハビリテーションを行っています。



言語聴覚士  
村岡 俊一

生命を維持するための栄養摂取と食べる楽しみは、人生にとって欠かすことができないことです。患者さんの「また食べられるようになりたい」という想いに応えるべく、口から食べることにこだわり、支援を続けています。



## 薬剤部だより

### 入退院支援センター専任の薬剤師について

2018年4月、患者さんに安心して入院していただくために入退院支援センターが新設されました。同センターでは、医師、Doctor Assistant、看護師、薬剤師、管理栄養士、事務など多職種が連携して業務を行っています。

専任の薬剤師は、服用薬や服薬状況の確認、薬剤アレルギーなどの情報収集に加え、手術や検査が予定されている場合などは、必要に応じて休薬の指導・管理を行っています。

薬剤師が患者さんの情報収集を行う際、『お薬手帳』を活用しています。外来受診時・入院時には必ずお薬手帳をご持参いただきませうようお願い致します。

薬剤部  
小塩 和人



## お答えします！ 皆様の声

皆様からいただいたご意見と、それに対する当館の回答をご紹介します。  
貴重なご意見ありがとうございます！



患者 Aさん

駐車場はまだ改善されないのでしょうか。  
いっぱい入れません。

病院の駐車場については、外来患者等が多い日には満車で駐車待ちをしなければならないなど、患者・家族の皆様には、大変ご迷惑をおかけしています。  
現在、駐車場不足の解消のため、駐車場の拡張工事を行っています。工期は年内予定です。  
ご理解の程よろしくお願いいたします。



計画推進室

# 新任医師の紹介

## 部長



救命救急センター  
部長  
岩村 高志



脊椎外科  
部長  
林田 光正

## 医長



小児科  
医長  
溝口 達弘



血液内科  
医長  
横尾 眞子



循環器内科  
医長  
堤 孝樹



緩和ケア科  
医長  
石川 亜佐子



膠原病・リウマチ内科  
医長  
末松 梨絵



総合内科  
医長  
原野 由美



産婦人科  
医長  
中山 幸彦



消化器外科  
医長  
佐藤 博文



放射線科  
医長  
森田 孝一郎



脳神経外科  
医長  
井戸 啓介

## 医師



脳血管内科  
医師  
東 英司



小児外科  
医師  
濱田 洋



小児科  
医師  
熊本 愛子



泌尿器科  
医師  
早川 祐輔



整形外科  
医師  
松下 優



循環器内科  
医師  
酒見 拓矢



心臓血管外科  
医師  
吉田 望

## 医員



緩和ケア科  
医師  
弓場 智子



消化器内科  
医員  
松永 拓也



脳血管内科  
医員  
日高 壮意



糖尿病代謝内科  
医員  
井上 瑛



腎臓内科  
医員  
橋本 優香



小児外科  
医員  
宮崎 航



消化器外科  
医員  
池田 翔太



消化器外科  
医員  
濱田 航平



眼科  
医員  
高木 宜典



眼科  
医員  
清水 瑞己



産婦人科  
医員  
中川 拓也



耳鼻いんこう科  
医員  
石田 知也



泌尿器科  
医員  
中村 友哉



泌尿器科  
医員  
近松 惣太郎



整形外科

医員  
北出 一季



整形外科

医員  
浦田 健児



放射線科

医員  
樋口 賢太郎



放射線科

医員  
吉永 優



放射線科

医員  
近松 沙樹



麻酔科

医員  
永石 雄基



麻酔科

医員  
松林 佑亮



麻酔科

医員  
村山 美和子



循環器内科

医員  
鶴田 浩太郎



循環器内科

医員  
横山 博毅



救命救急センター

医員  
坂井 ひかり



初期臨床研修医 2年次(6名)



医員  
力武 千晶



医員  
太田 礼音



医員  
津村 圭亮



医員  
岩野 文音



医員  
貞島 健人



医員  
山崎 温詞

初期臨床研修医 1年次(17名)



医員  
尾崎 雄一



医員  
嘉村 朋顕



医員  
島田 里美



医員  
田中 康平



医員  
大田 修



医員  
原 優実



医員  
平野 里佳



医員  
崔 麻那



医員  
南 優希



医員  
野内 友三郎



医員  
原田 亜由美



医員  
筒井 紘樹



医員  
佐々木 康作



医員  
井本 航



医員  
沖井 詩織



医員  
野田 亮介



医員  
平野 正貴

# 外来医師一覽表

(2019年4月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時) 土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	原野 由美 松石 英城	竹下 千紘 松石 英城/原野 由美	松石 英城 原野 由美	原野 由美 松石 英城/竹下 千紘	竹下 千紘 松石 英城/原野 由美
	呼吸器内科	新患 再来 専門外来	担当医 久保田 未央 —	担当医 加藤 剛 アレルギー・喘息	休 診 岩永 健太郎/小宮 奈津子 —	担当医 加藤 剛 —	担当医 岩永 健太郎/久保田 未央 —
	肝胆脾内科	新患 再来	中下 俊哉/村山 賢一郎 島村 拓弥 富永 直之	古賀 風太 富永 直之 緒方 伸一	大座 紀子/中下 俊哉 松永 拓也 富永 直之	大座 紀子/村山 賢一郎 松永 拓也 高良 吉迪	古賀 風太/野下 祥太郎 高良 吉迪 島村 拓弥
	消化器内科	ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—
	血液内科	新患 再来	飯野 忠史 近藤 誠司/岡本 翔	岡本 翔 権藤 久司/横尾 眞子	横尾 眞子 近藤 誠司/飯野 忠史	近藤 誠司 横尾 眞子/修補後カカブ外来(午後)	飯野 忠史 権藤 久司
	腎臓内科	新患 再来	松本 圭一郎 吉村 達	中村 恵 吉村 達/江頭 絵里奈	— 江頭 絵里奈	松本 圭一郎 吉村 達/江頭 絵里奈	中村 恵 —
	糖尿病代謝内科	コンサルト(予約制)	嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫
	腫瘍内科	再 来	嬉野 紀夫/原田 陽平	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫
	感染症(予約・紹介)	—	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ	午前(新患) 午後(再来)	— —	— 末松 梨絵	— 末松 梨絵	— 末松 梨絵	— 末松 梨絵
	消化管内視鏡 (責任者)	—	緒方 伸一	中下 俊哉	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一
	気管支鏡	—	加藤 剛	—	小宮 奈津子	久保田 未央	—
	腹部エコー	—	大座 紀子 古賀 風太	*大座 紀子 *村山 賢一郎 (*隔週で交代)	古賀 風太 村山 賢一郎	中下 俊哉	中下 俊哉 大座 紀子
	透 析	—	中村 恵	松本 圭一郎	中村 恵・松本 圭一郎	中村 恵	松本 圭一郎
	小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	担当医	担当医	担当医	担当医
		午 後 (完全予約制)	アレルギー外来 乳児健診 予防接種	内分泌外来	循環器外来	循環器外来/内分泌外来 予防接種 代謝・内分泌外来(第2・4)	1ヶ月健診 腎臓外来
	循環器内 科	午 前 (不整脈外来 完全予約制、新患 は水曜午前のみ)	江島 健一 堤 孝樹	吉田 敬規 中村 郁子	江島 健一 堤 孝樹	中村 郁子 吉田 敬規	三上 剛 酒見 拓矢
		午 前 後 (完全予約制)	本田 修浩	— (紹介)担当医	(新患)担当医 — (紹介)担当医	— (紹介)担当医	本田 修浩
		ペースメーカー外来(午前・予約制)	—	—	担当医	—	—
		午 後	検 査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検 査
精 神 科	午 前(完全予約制) 再診 月～金 8:30～12:00	石井 博修 角南 隆史	角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	
	午 後	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)					
放射線科	放 射 線 診 断 ・ I V R	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	
	放 射 線 治 療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内 科	午 前 後 専門外来 (完全予約制)	新患/再来 もの忘れ外来 パーキンソン病外来	高島 洋 — —	高島 洋 — —	上床 希久 高島 洋 —	上床 希久 — 高島 洋	
	脳血管内科	午 前	上床 武史	杉森 宏	東 英司	上床 武史/日高 壮意	杉森 宏
緩和ケア科	午 前(再診)	完全予約制	—	小杉 寿文 久保 麻悠子	—	小杉 寿文/久保 麻悠子	
	午 後(新患)	—	—	弓場 智子	—	—	
禁煙外来	午 後	完全予約制	—	久保田未央/小宮奈津子(14:30～16:30) 担当医	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	—	
外 科	消化器外科	新患 再来	田中 聡也 佐藤 博文	佐藤 博文 平木 将紹	奥山 桂一郎 池田 貯	池田 貯 奥山 桂一郎	平木 将紹 田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆脾外科	新患 再来	三好 篤 —	北原 賢二 —	三好 篤 —	中村 覚肅 —	北原 賢二 —
	乳 腺 外 科	—	—	手 術	白羽根 健吾/服部 正見	手 術	白羽根 健吾/服部 正見
	呼吸器外科	新患 再来	手 術	寺崎 泰宏	手 術	宮本 詩子	手 術
	小児外科	新患 再来	村守 克己 濱田 洋	手 術	当 番 医	濱田 洋 村守 克己	手 術
	眼 科	午 前 後	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/高木 宣典	手 術 検 査	手 術 清水 瑞己/高木 宣典	手 術 清水 瑞己/高木 宣典
産婦人科	午 前	婦人科 産科	金井 督之/八並 直子 室 雅巳/中山 幸彦	安永 牧生/中山 幸彦 室 雅巳/中川 拓也	安永 牧生/中川 拓也 室 雅巳/金井 督之	安永 牧生/中川 拓也 室 雅巳/八並 直子	
	午 後	手術日(紹介・予約) 産科(紹介)	手術日(急患のみ担当者) 室 雅巳	金井 督之 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	八並 直子 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)
(14:00～16:00)							
耳 鼻 いんこう科	午 前	—	宮崎 純二/川崎 佳奈子 石田 知也	—	宮崎 純二/川崎 佳奈子 石田 知也	宮崎 純二/川崎 佳奈子 石田 知也	
	午 後	—	回診・検査	—	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章/諸隈 太 早川 祐輔/中村 友哉	徳田 倫章/諸隈 太 早川 祐輔/近松 惣太郎	—	徳田 倫章/諸隈 太 早川 祐輔/中村 友哉	手 術	
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	手 術	
歯科口腔外 科	午 前・午後	完全予約制	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	
形成外科	午 前	原田 慶美	—	—	—	—	
	午 後	外来手術	手 術	フットケア外来	手 術	竹内 千洋 外来手術	
皮膚科	—	—	—	—	—	—	
整形外科	一般整形	塚本 伸章/岡 和一郎 松下 優/北出 一季	—	前 隆男/小宮 紀宏 松下 優	—	塚本 伸章/小宮 紀宏 岡 和一郎	
	脊 椎	林田 光正	—	林田 光正/馬場 寛	—	馬場 寛	
脳神経外 科	午 前	松本 健一	—	井戸 啓介	—	松本 健一	
	午 後	—	内藤 光三 学	—	—	—	
心臓血管外 科	午 前	—	手 術	—	—	—	
	午 後	—	回診	—	—	—	
人 間 ドック	一 般	—	権藤 久司	井之口 香映子	—	—	
	脳ドック	—	高島 洋	松本 健一	—	—	
看護専門外来	心臓ドック	—	—	—	—	—	
	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	